



広報
ロザリオ

第153号

社会福祉法人
ロザリオの聖母会
千葉県旭市野中4017
Tel (0479) 60-0600
ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
Eメールアドレス
honbu@rosario.jp



佐原聖家族園



聖ヨセフつどいの家



聖マリア園



ワークセンター



みんなの家

夏の思い出



ワークセンター



ワークセンター



目次

巻頭写真「夏の思い出」・・・ 1
 台風15号による被害状況について・・・ 2
 第30回「ロザリオ福祉まつり」中止について・・・ 3
 I L B S国際福祉協会よりの寄附・・・ 4
 ロザリオの聖母後援会より一屋根・外壁改修工事・・・ 4
 寄附者御芳名・・・ 5
 新任者紹介・・・ 5
 連載 私の新人時代⑩「私の新人時代」・・・ 6
 聖心女子学院ワークキャンプ・・・ 7
 不審者対応訓練・・・ 8
 ポッチャ交流会・・・ 8

第23回ロザリオ夏祭り・・・ 9
 『旭市七夕市民まつり 今年も大盛況!』・・・ 9
 「あさひ子ども食堂 夏休み」・・・ 10
 ロザリオ合同防災訓練・・・ 10
 パラスポの輪応援フォーラムに出展・・・ 11
 オセロ大会・・・ 11
 フォトギャラリー・・・ 12
 行事予定・・・ 14
 障害者週間行事のお知らせ・・・ 14
 法人説明会&見学会・・・ 14
 ボランティア募集のお知らせ・・・ 14

台風15号による被害状況について

法人本部 事務長 杉田明

9月9日未明に襲った台風15号により、利用者の生活環境、サービス提供、建物に甚大な被害がありました。法人本部内に対策本部を立ち上げ、各施設・事業所の被災状況の確認から始めました。本部内に設置したホワイトボードには各施設・事業所の状況が貼り出されていきました。通所系の事業所は送迎サービスを中止し、自主送迎での受け入れを行いました。相談系の事業所では地域の相談者の安否確認を進めていきました。入所系事業所では、利用者の安全を第一に図りながら、できる限り日常生活に支障が出ないよう対策を講じることとなりました。停電が始まり数時間が経つと、固定電話の電源が切れ不通となり、徐々に携帯電話の通信障害が起き始めました。

ここから長い停電との戦いが始まりました。連日厳しい残暑が続く中、いつも以上に水分補給や体調管理に気を配り、利用者はドライブに出かけエアコンの効いた

車内で暑さを凌ぎました。また、ポータブル発電機を駆使して扇風機や冷水機を稼働させました。夜間においては、ポータブル発電機と投光器により明かりをつけました。停電により、浄化槽の機能停止や井戸水の断水も起きました。生活の基盤を支える2つの機能停止は、今後の事業運営においての課題となりました。

停電対策としては、移動電源車の要請、ポータブル発電機の確保に務めました。ポータブル発電機は地元消防団の応援もあり、少しずつ集まりましたが移動電源車の到着は不明な状態が続きました。

停電から3日が経過した9月11日早朝、旭市の電力が復旧しました。これにより旭市内の施設・事業所においては、日常を取り戻すことができました。しかしながら、香取市内の停電は続いており、さらなる長期化を視野に入れた対応を検討し始めた9月12日。待望の移動電源車が佐原聖家族園に配備されるとの一報が入りました。ほど

なくして移動電源車が到着し、1〜2時間の設置工事の末、電力が回復されました。それでも香取市内の復旧は見通しが立たず、連休明けまで継続することも考えられました。また、通信障害は依然継続しており、被災状況の把握や今後の対策を考える上では大きな障壁が横たわっていました。通所系事業所の利用者のみなさんにとつては、サービス提供が止まり1週間が過ぎようとしており、停電が

継続してもサービス提供ができるよう対応を検討しました。法人内の施設・事業所で受け入れられる人数の把握や送迎サービスの検討をしていました。9月13日の夜に香取市内に電力が戻り始め、9月14日にはすべての施設・事業所に電力が供給されるようになりました。

一方、強風による建物等の被害においては、エアコン室外機の損壊が2台、屋根の破損が広範囲に数箇所、テレビアンテナの倒壊、プレハブ倉庫や小屋の倒壊が数箇所あり、縦横無尽に吹き付ける雨と風による雨漏りが多数ありました。また、周囲を囲む杉林からたくさんの枝が舞い込み、進入路への倒木とフェンスの倒壊もありました。被害のあった施設へは法人内の各所から応援が入り、居室に侵入した雨水への対応、倒壊した



佐原聖家族園 電源車



排煙窓からの浸水

小屋や倉庫の撤去など、皆が協力をして行いました。さらに、建築業者や設備業者の方々も応援に駆けつけていただき、少しでも早い復旧を後押ししてくれました。壊れてしまった建物や備品などの復旧は、いましばらく時間を要するものと思われまます。

近隣地域に目を転じると、電力の回復に時間を要したり、断水が継続した地区がありました。東日本大震災の折に、断水が継続し義援物資として届けられたポリタンクを活用して断水が続く地域へ水を届けることや、使用しなくなった投光器やポータブル発電機を近隣施設へ届けたり、さまざまな形での受入を検討してきました。

今回の被災において、我々の生活が如何に電力に依存しているかを痛感させられました。また、日頃当たり前のようになっていた携帯電話などの通信機器がどれだけ重要なものかを再発見することとなりました。幸いにも食料や燃料など物資の面では大きな混乱はありませんでした。そして、何より胸をなでおろしたのは、尊い命が失われたり大きな怪我をする方が、誰一人出なかつたことです。

今回の経験を糧として、法人全体としての災害対策と各施設・事業所ごとの対策、さらには地域との連携について、より緊張感を持って検討をしていきたいと思えます。最後になりましたが、今回の被災の中で本会に寄せていただいたお気持ちや協力に感謝し、心より御礼申し上げます。また、現在も被災が続く苦しい生活を送っている地域の方々におかれましては、お見舞い申し上げますとともに、一日でも早く日常を取り戻すことができるよう祈念しております。



高萩福祉センター 倒木



聖家族園

旧診療所南側ポンプ小屋破損



聖母通園センター

通園センター前水銀灯斜めになる



ワークセンター

物置、大風により玄関前へ移動

第30回「ロザリオ福祉まつり」中止について
福祉まつり事務局

9月29日(日)に開催を予定しておりました「第30回ロザリオ福祉まつり」ですが、この度の台風15号及び大規模停電に伴い県内の各所で甚大な被害が発生しており、被災された方、いままなお停電が続く苦勞されている方々がいる中で、まつりの開催は難しく、やむなく中止とさせていただきます。申し訳ありませんが、ご理解いただければと存じます。

昨年度に続き、楽しみにしていた多くの方々の期待に応えられず、申し訳ありませんでした。関係者の皆様には、多大なご迷惑をおかけしましたこと、お詫び申し上げます。

来年度の「ロザリオ福祉まつり」は開催を予定しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。

ILBS国際福祉協会よりの寄附

海上療養所 事務部長 野中猛夫

2019年6月4日(火) スイス大使館公邸にて、安倍昭恵首相夫人をはじめとして、駐日スイス大使夫妻や各国駐日大使夫人のご臨席の下、ILBS国際福祉協会様による介護用ベッド購入資金、金104万7600円の日録贈呈式が行われ、本会からは石毛理事長が出席し日録を頂きました。

ILBS国際福祉協会様は、各種民間福祉施設を援助する奉仕団体で、1953年に皇室の庇護の下で設立され、駐日大使夫人や政界・財界の夫人有志が参加、各宮妃殿下も名誉会長として参加しております。以来、多くの会員が力をあわせて募金活動を行い、病气や障害を持つ人たち、また恵まれ



ない境遇にある人たちのお世話をしている国内外の数多くの施設や団体を援助している団体です。

この度の援助資金は、海上療養所の患者様用ベッド8台の購入資金に充てさせて頂いて頂きました。海上療養所は精神科単科(2棟2病棟)の病院で1病棟は建物・設備等も老朽化が進んでおります。購入させて頂いていた新しいベッドは、ギャッジ方式がレバー式のシリンドーベッドであり、患者様への安全で快適な治療環境の提供、職員の介護時の腰痛軽減にもなっており、患者様・職員ともたいへん喜んでおります。



改めてILBS国際福祉協会会員様、募金活動にご協力をいただきました皆さまに感謝とお礼を申し上げます。

ロザリオの聖母後援会よりー屋根・外壁改修工事ー

聖マリア園 主任 根岸成明

聖マリア園では2019年度後援会よりご寄附を賜り、屋根・外壁の改修工事を行うことができました。現在の建物は平成3年の開設以来長い年月、利用者・職員をはじめとする多くの人達と身の回りの「大切な品々」や多くの「思い出」を守って生きてくれました。海に近い恵まれた環境のもと、数えきれないほどの雨、大雨、風、台風、猛暑、塩害、地震など過酷な環境にも耐えてくれていたのですが、ここ数年傷みがわかるようになっていました。具体的には外壁塗料の劣化、壁のひび割れ、窓まわりや要所のシーリング材の劣化、それから雨水が侵入して鉄筋のサビ、外壁材の浮きや一部剥がれ、屋上防水層の劣化、強風時の雨漏り、使用していない煙突の危険性などがありました。専門家にも確認していただき、修理・修繕が必要となり工事をする事となりました。

確認、計画、着工、完成となるまで2年かかりましたが、それま

では多くの方々のご協力やご理解があったからできた大きな工事だと思っております。利用者の生活への影響を極力少なくしようと工事場所をいくつかのブロックに分けたり、工事の時間、工事の順番などいろいろと工夫しました。震災時などに空から障害者施設だとわかってもらえるように屋上に施設名と車椅子のマークを大きく入れたりする工夫もしました。工



事期間も平成30年11月〜令和元年5月までと約6ヶ月必要でその間大きなトラブル等はなく無事に終えることができました。協力的な方々に恵まれたと痛感することができた6ヶ月でした。

おかげさまで完成後は雨漏り等もなく快適に過ごさせていただいています。外観もきれいで

色の気分も晴れやかな感じになりました。先日初めて来園された方には新しい建物かと思ったと言ってもらえました。利用者からも好評で「やっぱりきれいなのは気持ちが良いね。これで雨漏りはしなくなったね」など、喜びと安心の思いを言っていたいただきました。安全面、衛生面、安心感などで改善ができて関係者全員で喜んでいきます。

これからも聖マリア園は利用者とともに歩み続けていきます。建物や設備を大切にし、大事にメンテナンスに努めてまいります。先人が願った聖マリア園を建てた想いに恥じないよう長く



完成予想

使用させていただきます。

平成から令和へと新しい時代となるこの時期にこのような機会をいただいたことにあらためて感謝いたします。また、ご寄附をいただいた後援会の皆様には心より御礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

寄附者御芳名

令和元年
7月1日
〜
9月30日

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|-----------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------------------|------------------------|-------|-------|-------|---------------|-------|-------|--------|-------|--------|----------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|--------------------------|-----------|-------|--------|--------|----------|--------|--------------------|--------|-------|-------|-------|-------------|
| 山崎徳美様 | 本多幸一様 | 伊藤武満様 | 永島妙子様 | 蛭田英子様 | 橋本キイ子様 | 栗林英夫様 | 大門口幸子様 | 村中弘二様 | 田中智代様 | 根本昌玲様 | 工藤玲子様 | 藤川隆子様 | 宮田次夫様 | 黒田勝次様 | 大塚公明様 | 浦野和道様 | 才賀孝道様 | 橋上富博様 | 西山富博様 | 安山富博様 | 石毛万知子様 | 寺島誠様 | 御わたしん様 | 君塚康彦様 | 向後とみ江様 | 大関稔子様 | 堀越武夫様 | 石毛滋樹様 | ウイング総合法律事務所
弁護士 日向隆 様 | 佐藤建築設計室 様 | 伊藤貴範様 | 中曾根保子様 | 荒井醤油功様 | 越川幸春様 | 小室英一様 | 山口英一様 | 木下けいか様 | 佐藤澄江様 | 藤原直紀様 | 石川善昭様 | 東日本電信電話(株)様 |
| 穴澤久子様 | 石井悦晴様 | 旭市母子寮福祉会旭地区
鶴井のり子様 | 荒井のり子様 | 夢田雄彦様 | 飯田昭彦様 | 滝岡定彦様 | 名雪利彦様 | 澤野利彦様 | 五十嵐行雄様 | 大木勝雄様 | 山崎防犯設備
南竹屋 菅生誠 様 | 旭地区遊技場組合
組合長 小川憲二 様 | 山本維子様 | 戸辺澄子様 | 福島春子様 | Studio YUKI 様 | 高橋順子様 | 角田利夫様 | 小林誠一郎様 | 熱田富江様 | 服部綾子様 | ダスキン銚子 様 | 網中光一様 | 諸野耕太郎様 | 飯島幸子様 | 西脇邦夫様 | 宮本宏子様 | 林本定子様 | 岩佐延高様 | 佐藤ふみ子様 | 豊田弘子様 | 林とめ子様 | 高橋進一様 | 副島可菜・隆 様 | 庵田ミチ子様 | アントニオ・ガルス
シニア 様 | | | | | |

香取就業センター



生活支援ワーカー
松島 由季代
9月より香取就業センターで勤務され、明るく意欲的に取り組んでくださっています。今後の活躍に期待しています。

佐原聖家族園



支援員
石毛 純也
10月より常勤職員になりました。利用者の様子にいち早く気づき、声を掛けてくれる優しい石毛さん。今後もしっかりと頑張ります。

聖家族作業所



支援員
来栖 菜紀
7月から常勤となりました。勤務中のテキパキとした行動は、とても頼りになります。勤務年数も長く、今後も期待しています。

聖家族園



支援員
多田 公子
入職後9年間非常勤支援員として勤務していましたが、今度も細やかな気配りと利用者へのさりげない配慮など、優しい支援を期待しています。

聖家族園



支援員
岩井 英貴
笑顔が素敵な好青年、7年間非常勤支援員として勤務してきていました。これからも利用者へ寄り添った支援を充実させていきたいと思っています。



連載 私の新人時代 ⑬

「私の新人時代」

聖ヨセフつどいの家 所長 中野仁敦

私は平成8年の4月1日に当時

の名称で身体障害者療護施設聖マリア園に入職しました。まだ、法人内の施設も数えるくらいしかありませんでした。法人本部はプレハブだった記憶があります。グリーンハイツ1ができた年で、多くの新人たちが入居しました。初めての一人暮らし、新品の風呂と木の香りがするフローリングに胸が高まった記憶があります。テレビも無い生活が1年近くありました。が、先輩たちと遊ぶのに忙しく不便を感じたことはあまり無かった記憶があります。その後、グリーンハイツに20年に渡りお世話になるとは当時は夢にも思いませんでした。

私の新人時代はかなりのお荷物支援員でした。同期入職が1ヶ月遅れで1名加わり、5名だったのですが、リーダー業務を任されたのは5番目でした。1年目が終わりをそうなころに、同期同士で話をした時に、皆一様に「私たちは厳

しく注意されて育ってきた」と話しており、自分の中で腑に落ちない部分がありました。後で分かった話ですが、当時の私は強く注意するとマリア園を辞めてしまいそうなので先輩方が数名で話し合ってから注意していたそうです。内容によっては、同期から注意するようにしていたそうです。確かに先輩に注意されたことよりも同期に注意されたほうが、圧倒的に多かった気がします。

この時、上司や先輩方は、他の同期と異なった育成をしたのだと気が付きました。ある利用者に介助ではなく、自力で食事摂取できるように、医務科と連携してリハビリに携わるように命じられました。リハビリの過程で利用者への関わりや気付きの大切さを学べるように誘導してくれたのだと感じました。その利用者からは常に介助を受ける側の気持ち、人生に関してなどを優しく教えていただきました。先輩からは夜間コールが

頻繁な利用者について話をした際に「それだけ、コールを押すといふことは、その方に今、ゆとりがないからだよ」と諭され反省したことがあります。



当時私は時間だけはあったので、職員や利用者に依頼され車椅子や電化製品の調整等ばかりしていた気がします。仕事が早い職員が、調整に入るよりも、私が入ったほうが、園全体の業務効率が良かったため依頼されていたと思えます。しかし理由など私に解るわけもなく嬉々として取り組んでいた気がします。結果的には、役割

の一つ与えてもらう形になり、利用者との関わり方を見出すことができました。休み明けで出勤すると、修理や調整がたまっていることがよくありました。

ある日職員から、利用者がワープロを買ったのに、両手が使えないのでシフトキーを押しながらの入力ができなくて困っているとの話がありました。キーボードにヒンジを付け、ヒンジを起こすと棒がシフトキーを押した状態になるようにしました。結果ワープロを一人で使うことができようになりました。そこから自助具の作成にも関わるようになりました。具体的には、リモコンには、リモコンに突起物をつけ、テレビのチャンネルを自分で変えられるように改造。水道のレバーに

ステイを取り付けて、自力で水を出すことができるといった他愛のないものです。限られた職員数で利用者に対応するなかで時間帯によつては、チャンネルを変えることも、洗面所で水を出すのも、待つ

ていただく必要がありました。自
 助具があれば、時間と職員を選ば
 ず、やりたい時にできる利点があ
 りました。コールを押すことにた
 めらうこともありません。自助具
 は個々に合わせて作成するので、
 時間はかかりましたが、作成過程
 での利用者とのやり取りはとても
 楽しいものでした。関わりが上手
 にできない私にとっては、利用者
 と関係を作るきっかけになりました。
 ただ問題が一つあり、自助具の
 材料は園内にある廃材がメインで
 した。廃材を見ると私が欲しがっ
 て廃棄しないため、園内にどんど
 ん廃材がたまっていくので、園と
 してはかなり迷惑な存在だったと
 思います。

今振り返るとあつという間の1
 年でしたが、先輩や利用者から教
 えられたことが以後自分の基礎と
 なっていると感じています。今年
 度から聖ヨセフつどいの家に初め
 て異動になり、新人時代に戻った
 気持ちです。初めて知ることがあ
 まりにも多く、勉強不足を感じ
 ることが多い日々が続いていま
 すが、これからも周囲の皆様から
 学びながら精一杯務めていこうと
 思っています。

聖心女子学院ワークキャンプ

法人本部 事務長 杉田明

7月22日から24日の3日間、夏
 休みを利用して聖心女子学院の生
 徒さんが当会にワークキャンプで
 いらっしやいました。3名の生徒
 さんから素敵な感想をいただきま
 したので、一節をご紹介します。
 いただきます。

この他にもたくさん素敵な
 メッセージをいただき、改めて外
 部の方が施設にいらっしやる大切
 さを痛感しました。将来、福祉の
 職場に就かなくても、この経験を
 活かして素敵なオトナになってほ
 しいと願っています。

明石真優さん

利用者さんの表情をよく観
 察して、気持ちを汲み取るこ
 との大変さを感じました。長
 い間ずっと一人ひとりと向き
 合っている施設の方との間に
 ある信頼関係によって成り
 立っていると思います。「なん
 でもしてあげるのではなく、
 時には厳しい言葉も使いな
 がら、できることができなくな
 らないように接することこそ
 が本当に利用者の方のために
 なる」と改めて考えさせられ
 ました。

伊藤杏奈さん

職員の方に「私が来て一緒
 に遊んでくれたおかげで今日
 はすごく(利用者さんが)楽し
 そうだったよ」と言っていた
 だけ、小さくても何かの手助
 けができたと思いき嬉しかった
 です。(支援の場面で) 効率
 よくできる面では徹底的に時
 間を削り、その分の時間を費
 やしてあげなければならん
 んだ」という職員の方の言葉
 には、プロ魂を感じました。

佐藤ななこさん

3日間を通して、たとえ障
 がいを持っていたとしても、
 自分の意思に素直に、好きな
 ことを楽しんで生活している
 場があるということを自分の
 目で見ることでできて本当に
 意味のある経験となりました。
 また、その利用者さんの
 生活を介助する支援者さんと
 緊張感がありつつも明るい雰
 囲気の仕事場に入れていただ
 けて、福祉に携わる方々のリ
 アルな姿を知ることができま
 した。手や服を強く引っ張ら
 れたり、驚くような体験もあ
 りましたが、このような経験
 を通して利用者さんの行動に
 はすべて意思が伴っているの
 だなと発見がありました。



不審者対応訓練

みんなの家 主任支援員 尾形豪拓

平成28年に起きた障害者支援施設での事件を受け、我々職員ができること、また、やらなければいけないことなどを学ぶ機会として旭警察署生活安全課の方にご協力いただき、今回で3回目となる訓練を実施いたしました。訓練内容は「刺股を使用した不審者侵入時の対処方法と不審者に襲われた際に身を護る離脱術の紹介および実践」という内容で行われました。刺股は相手を威嚇する道具として有効であるほか、近くに刺股がない場合の代用品としてパイプ椅子を使用した対処方法などを学びました。また、複数で対峙しているときに挟み撃ちにすると不審者の心理的な動揺を誘えることなどを確認することができました。



次に、不審者からの離脱技について二人一組で実践しました。人間の身体構造に基づいた講師の指示通りに動かすだけで、不審者役の職員の意に反してスルッと身体を抜け出すことができるため、不思議な感覚で互いに顔を見合わす場面もありました。

講師より「実際の場面では警察が到着するまでの時間をいかに稼ぐことができるかということに重きを置いて対応してほしい。」というお話がありました。利用者の生命を守るとともに職員自身を守るためにも今回のような訓練が重要であると感じました。

今回、ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

ボッチャ交流会

聖マリア園 荒井貴雪

令和元年7月17日、ロザリオ体育館にて聖マリーガレットホーム様と光洋苑様と聖マリア園（聖マリアアデイサービスセンター含む）の交流を目的とした3施設合同ボッチャ交流会が行われました。

試合はまず、全6チームが2組に分かれ、総当たり戦を行いました。そして、それぞれの組の1位、2位、3位同士が戦うことにより、全チームの順位を決定しました。今年は例年と異なり、点数が拮抗する試合が多々あり、どのチームが1位になってもおかしくない白熱した戦いが繰り広げられました。当然、1位のチームもあれば、最下位のチームもありまし



たが、皆さん様に「楽しかった」という声をいただき、勝敗に関わらず対戦相手と朗らかに話されている姿も見受けられ、ボッチャ交流会の本懐を遂げることができました。

利用者さんの試合が終了した後は毎年恒例となりつつある職員同士のエキシビションマッチが行われました。エキシビションとはいえ、職員に遊びのつもりなどなく、手加減無用の接戦に目が離せませんでした。来年からは参加施設も増え、開催場所も変わり、より賑やかなものとなる予定です。今後他施設との交流の輪を広げ、より良い支援を目指していければと思います。

第23回ロザリオ夏祭り

海上療養所 看護師 飯島誠子

7月26日(金)旭市黄鶴にて令和初のロザリオ夏祭りが開催されました。

今回は277名の職員及び家族が参加されました。食事はお弁当とビュッフェですが、例年通りビュッフェはあつという間に無くなるほどの大盛況でした。

また、平成30年度の定年退職者は5名で、記念品の贈呈も行われました。各施設が参加するカラオケ・演芸では、聖家族園が見事理事長賞を受賞されました。

そして、皆さんがいちばん楽しみにしている福引ですが、今回は景品購入先のドン・キホーテさんより大量のご寄附をいただき、景品数がなんと240個となりました。理事長があいさつ時に話されたとおり、当たらない方が30名ほどの確率で



理事長賞受賞 聖家族園



福引の様子 大型TVは誰の手に……

す。かなりの時間を要しましたが、自分の番号を呼ばれると笑顔で景品を取りに行く姿が見られました。

職員の日頃の労をねぎらい、また、他事業所との親睦を行い、楽しい一日を過ごせたかと思えます。ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

『旭市七夕市民まつり 今年も大盛況!』

Madoikaプロジェクト 管理者 井上創

8月6日と7日の両日にわたり今年も「旭市七夕市民まつり」が行われ、私たちもこれに参加いたしました。今年

2日間(8月6日~7日)とも良い天気に恵まれ、また来場者も多く、太鼓や笛の音色や神輿のかけ声が真夏の夜空を彩りました。また、ステージでは趣向を凝らしたバンド演奏やサンパシヨが会場を盛り上げてくれました。おいしい飲みものや食べ物、ゲームなどの模擬店では子供から大人まで、人の流れが途切れることはありませんでした。



方々、また出店や飾りつけ、ステージ参加、ご来場いただきましたすべての皆さま、本当にありがとうございました。友人同士や家族、仕事仲間と楽しいひととき、良き思い出となってくれたとすれば幸いです。

Madoika(まどいか)は、地域の皆さまとともに歩む福祉活動の場でもあります。老若男女や障がいがある人もない人も、ともに集まり、遊び、支え合いながら、一人ひとりが自分らしく生活できる地域づくりを、これからも目指したいと思っております。これからもよろしくお願います!

会場設営にご協力いただきました企業さま、ボランティアの

「あさひ子ども食堂 夏休み」

海匠ネットワーク 延真理子

あさひ子ども食堂を始めて4年目となりますが、今年も夏休みの子ども食堂を無事に終えることができました。今年は5回の開催で、延べ178人の参加となりました。

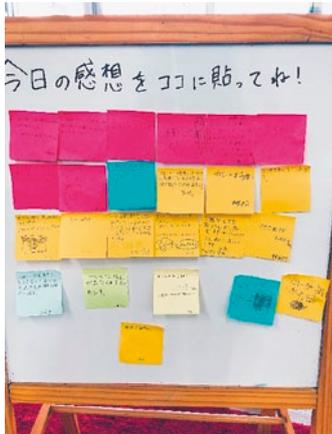
イベントとしてボーイスカウト旭第1団の方々に、ロープを使った遊びを教えてくださいたいたり、旭市高齢者福祉課の方々に、認知症サポーター養成講座を開催していただきました。子ども達の様子は、とても元気がよく、友達と楽しく遊べていました。また、子ども達から「みんなとご飯が食べられてよかった」、「ロープ遊びが楽しい、水鉄砲が楽しかった」、「ご飯が美味しかった」、「認知症の人やお年寄りの人に優しくしようと思った」などの感想をいただきました。



ボランティアスタッフとして、地域の方々も参加していただくことができました。また、他事業所の職員の方々もたくさん参加してください、たいへん助かりました。

色々な人と触れ合うことは、子ども達にとって良い経験になったと思います。

地域の方々の交流の場、子ども達の成長を見守れる場となるよう、今後も子ども食堂を続けていきたいと思っておりますので、応援、ご協力をお願いいたします！



ロザリオ合同防災訓練

みんなの家 主任支援員 尾形豪拓

令和元年9月4日(水)、新元号に変わって最初のロザリオ合同防災訓練を行いました。今回の訓練は、大規模地震発生に伴う、みんなの家就労移行班作業室より火災が発生するという想定で行いました。当日は各施設に設置されている防災無線の通信テスト、通報設備の確認等を実施し、また、火元には旭消防署と地元消防団の消防車が駆けつけ実際に放水訓練を行いました。



「この講評をいただきました。また、野中区長様には「スピーディーによくできていた。今回の訓練で気付いたことを共有して今後に備えてほしい。野中区は海から近いということもあるので、地震後の津波にも警戒をして火災と同様に避難場所等も確認しておいてほしい。」と講評をいただきました。

元号は変わっても我々のやるべきことに変わりはなく、石毛理事長が講評で話していた「各施設・事業所が地域の方々と強いつながりを持って一人ひとりの生命・財産を守っていくためにできること」を

日々考えていきたいと思っております。最後に、今回の合同防災訓練にご協力いただきました野中区長様、旭消防署様、地元消防団の皆様、御礼申し上げます。ありがとうございました。

パラスポの輪応援フォーラムに出展

法人本部 事務長 杉田明

東京2020パラリンピックでは「ゴールボール」「シッティン グバレーボール」などの4競技が千葉県内で開催されます。これを契機に、千葉県では企業・団体、学生ボランティアで構成される障がい者支援ネットワークの基盤を整備し、継続性のある体制づくりを目指そうとしています。その体制づくりのキックオフイベントとして、8月18日(日)ポートプラザ千葉において「パラスポの輪応援フォーラム」が開催され、ブース出展という形で参加してきました。

今回このイベントに参加するきっかけとなったのは、オリンピック・パラリンピックを契機として、自分たちは「共生社会を創るんだ」と目を輝かせながら語る学生ボランティアのリーダー、そして、その想いを温かく支えている先生との出会いから始まりまし た。

当会とパラリンピックの関係は、当会の職員であった荒井のり子さんがアトラクタ大会、シド

ニー大会に車いす陸上のアスリートとして参加し、見事金メダルと銀メダルを獲得したことから始まります。当時は障害者スポーツ研究会と称した荒井のり子さんの後援会が有志の職員で構成され、練習会への参加支援などを行うとともに、ロザリオピックと銘打ち地域の陸上競技場で法人を挙げてのイベントを開催してきました。

そのような経緯もあり、今回のブース出展では、メダリストの荒井さんを中心に、当会におけるスポーツに関する取り組みをスライドにまとめご紹介させていただきました。当日は荒井さんも参加していただき、本物のメダルを展示し来場した方々の首に直接メダルを掛け、写真を撮るなど楽しい時間を過ごしました。多くの人との偶然的な出会いから、共生社会への輪が広がるうとしています。本イベントで基調講演をいただいた花岡氏は、「スポーツを手段として、人づくりと街づくりをした い」と語っていました。この想い

は、12月7日に行われる障害者週間行事の講演会につながっていき ます。出会いから奇跡が生まれる 予感を感じながら……。



オセロ大会

聖マリア園 関根大貴

千葉県身体障害者施設協議会の主催による「第53回県身協オセロ大会」が令和元年6月26日千葉県ハーモニープラザで開催され、今年も参加させていただきました。年に1回の恒例行事で、県内18施設に入所されている利用者、約70名が団体・個人戦に分かれ、白熱した試合が繰り広げられました。

試合中の熱戦とは違い、大会終了後は他施設の人達とお互いを称え合い、親睦を深めることができました。

聖マリア園の成績ですが、個人戦は初戦で本大会優勝者と対戦し、負けてしまい4連覇とはなりませんでした。団体戦では3名共1勝2敗の成績で10施設中7位となりました。

参加された皆さん全員、来年は今年のリベンジで優勝したいと意気込んでいます。日々の生活でもそうですが、オセロを通して利用者さんの笑顔が増えるよう支援していければと思います。

Photo Gallery



★みんなの家★

暑さ吹き飛ばすお楽しみ 納涼会に行ってきました！！



カラオケ大会！
上手だね♡



★ナザレの家かとり★
上手に歌うための
腹ごしらえ！

★聖家族作業所★



お肉とキャベツ
運びます！

お肉上手に
やけるかな？



そば混ぜますよ！



かき氷おいし～



★聖ヨセフつどいの家★



トランポリン 楽しいな



縁日楽しかった！



成田イオンに行ってきました♡

★聖マリア園★



獅子舞に囃まれ
福が来る!!



熱戦!! オセロ大会4連覇ならず!
来年はリベンジで優勝だあ!!



マリアデイサービス



納涼会のビンゴ大会でゲット!!



他施設との
ポッチャ交流会♪



獅子舞にガブッ!
.....で
無病息災(^o^)



お楽しみ会で夏の壁画作り
をしました!!



外出活動で九十九里ハース
ガーデンに行ってきました!

★聖母療育園★



きれいに着付けてもらって、
楽しい夏祭り!



おいしいご飯食べられて
うれしいな!

★佐原聖家族園★

お知らせ

障害者週間行事

日時 令和元年12月7日(土)
13:00～16:00
場所 千葉県東総文化会館 小ホール

【第1部 13:00】

令和元年度 第28回 ボランティア感謝式
令和元年度 第28回 作文コンクール表彰式

【第2部 14:00】

基調講演
「私のターニングポイント」
～『五体満足』から『人生満足』の人生へ～



演者：花岡 伸和 氏
一般社団法人
日本パラ陸上競技連盟 副理事長

主催 社会福祉法人 ロザリオの聖母会

行事予定

- 1. 11. 5 法人運営会議
6 総合安全対策委員会、地域生活支援連絡会
7 千葉県指導監査
8 千葉県指導監査
12 法人運営会議
19 法人運営会議
20 理事会
21 施設・事業所長会議、通所事業所連絡会
26 法人運営会議
27 評議員会
- 12. 3 法人運営会議
4 総合安全対策委員会、地域生活支援連絡会
7 障害者週間行事
10 法人運営会議
17 法人運営会議
18 中長期ビジョン策定プロジェクト会議
24 法人運営会議
- 2. 1. 6 新年挨拶会
7 法人運営会議
8 総合安全対策委員会、地域生活支援連絡会
14 法人運営会議
16 通所事業所連絡会
21 法人運営会議
22 理事会
28 法人運営会議
29 施設・事業所長会議

法人説明会&見学会

日時 令和元年11月14日(木)

13時30分～15時30分

場所 中沢ホール(予定)

- 内容 ・若手職員3名による
法人の魅力説明
・何でも質問コーナー
・施設見学

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

E-mail honbu@rosario.jp

採用担当 杉田・熱田・仲條・越川

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設や利用者のために常時ボランティアのご協力をお願いしています。

お願いのできる方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

担当 仲條

本誌のバックナンバーを
ロザリオウェブサイトを
(<http://www.rosario.jp>)
に掲載しています。

- 医療保護施設 海上療養所
- 訪問看護ステーション ソークセンター
- 就労継続支援B型事業所 ワークセンター
- 医療型障害児入所施設・療養介護事業所 聖母療育園
- 生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス(重点) 聖母通園センター
- 児童発達支援事業・放課後等デイサービス・相談支援事業 旭市子ども発達センター
- 障害者支援施設 聖マリア園
- 障害者支援施設 聖家族園
- 障がい者の就労促進事業所 みんなの家
- 生活介護事業所 聖家族作業所
- 共同生活援助事業所 ナザレの家あさひ
- 高齢者支援事業 高年齢者支援センター
- ロザリオ訪問介護事業所 通所介護・介護予防通所事業所
- 障害者支援施設 デイサービスセンター・ローザ
- 障害者支援施設 佐原聖家族園
- 生活介護・放課後等デイサービス 聖ヨセフつどいの家
- 共同生活援助事業所 ナザレの家かとり
- 地域生活支援センター 友の家
- 中核地域生活支援センター 海匠ネットワーク
- 香取市相談支援事業 香取障害者支援センター
- 障害者就業・生活支援センター 香取就業センター



このロゴマークは、師イエズス修道女会 北爪悦子修道女 により作成されました。